

哀悼 あ、濱岡町長ゆく

町議会で町葬を可決

三月八日午後一時東明院で告別式

故度会町長、濱岡和一氏は昨年十月下旬日本赤十字社山田病院に入院され、医師の手厚い治療と回瘻をひたすら願うご家族をはじめ友人、知己の暖かい祈りの中に静養につとめておられました。春一番(春先の風雨)の去った三月二日午後二時二十五分急逝されました。

突然の知らせを受けた町当局は、早速三月三日臨時町議会を開催、このことについて協議いたしました。町葬をもって行なうことを可決し、次のおり度会町と濱岡家の合同により執り行なうことになりました。

ことに度会村長に初当選された昭和四十二年五月一日以降は三期連続町長に当選され、当町の首長として数々の輝かしい業績を残されました。お名前のごとく常に「和」の精神を町政の基本として、度会町の福祉の向上に苦心されました。あの濱岡町長のいづれも和やかな静かな語りや忘れられない一面であると思えます。

入院後の昨年十一月腹部の手術をされたがその後は順調で、病院の階段を往復しながら体力づくりにつとめておられました。花の咲く頃には退院されるほどに回復されましたが、このたびの突然の訃報は誠に悲しいことです。

故濱岡和一氏は、昭和二十六年旧一之瀬村役場の書記として就任せられてから、一之瀬農業協同組合長として活躍された七年間を除く人生の大半を度会町職員として全うされました。

町政の執行面でもごく普通の中心とした民主主義に徹した政治姿勢は特筆すべき業績の一つに数えてよいと思えます。その業績の集積は部厚く、限られた紙数で書き尽すことはとうてい出来ませんが、宮川と一之瀬川の流域を走る幾すじの町道および県道の改良整備事業の一つを見ても濱岡町長の心と汗の努力の跡がにじみでていると思えます。

……ここに事業の一端を列記して今はなき濱岡町長のご遺徳をしのびたい。

業績抄出

- 度会町と大宮町をむすぶ林道藤越線の完成……四四年
- 農業構造改善事業(上久具茶屋広の茶園造成等)四三年～四五年
- 鮎川大橋(農免道路)完成……四四年～四七年
- 簡易水道の整備
- 上久具簡水完成……四五年
- 下久具簡水完成……四八年
- 立岡簡水着工……四九年
- 大野木簡水着工……五〇年
- 度会高校体育館完成……四六年
- 度会町美化センター(ごみ焼却場)完成……四八年
- 度会高校校舎第一期工事完成……五〇年
- 度会高校独立……五〇年
- 度会統合中学校校舎完成……本年四月開校
- 伊勢度会広域消防庁舎完成……五〇年
- 日向大橋……四八年用地買収、四九年着工、五一年完成予定
- 田口大橋架橋促進……四九年調査費計上、五〇年用地買収、五一年着工

- 四九年七ヶ災害……早期復旧に着手促進
- 町道、県道の改良促進
- 団体学農道整備事業(平生牧戸、棚橋)……四九年着工、五一年完成予定
- 南伊勢広域農道の促進……度会町地内(大野木、葛原)五〇年着工

故濱岡町長の役場履歴(抄)

- 昭和二六年一月十五日、一之瀬村書記に就任
- 昭和三〇年四月一日、度会村発足により度会村事務史員に就任
- 昭和三〇年八月一日、度会村助役に就任
- 昭和三四年五月三十一日、度会村助役を辞任
- 昭和四二年五月一日、度会村長に就任
- 昭和四三年一月一日、町制施行により引続き度会町長に就任
- 昭和四六年五月一日、度会町長に再選就任
- 昭和五〇年五月一日、度会町長に三選就任
- 昭和五一年三月二日、永眠される。

おわび

三月八日の町葬当日は、職員の大半が参列いたしますので、ご迷惑をおかけしますが、悪しからずご了承下さい。

悼句

春一番すぎし安堵に逝き給ふ  
壺きゅう車去りたる庭や春寒く  
天高く散りゆく梅を惜しみけり

猪垣亭

春一番すぎし安堵に逝き給ふ  
壺きゅう車去りたる庭や春寒く  
天高く散りゆく梅を惜しみけり



